

・三位一体後第二主日

# 泉のほとり

今月の詩編「第一編」

いかに幸いなことか

神に逆らう者の計らいに従って歩まず

罪ある者の道にとどまらず

傲慢な者と共に座らず

主の教えを愛し

その教えを昼も夜も口ずさむ人。



## 救われるべき名はキリスト

ペンテコステの日に弟子たちの上に聖霊が降り、彼らに語る言葉と心を与えました。それから弟子たちは、主イエスの救いの出来事を語り始めます。弟子のペトロはユダヤ人の指導者たちに向かつて、わたしたちが救われるべき名は、イエス・キリスト以外にはないと断言しました。これはわたしたちが心に刻んでおくべき言葉です。

日本にもいろいろな神々があります。勉強ができるようにしてくれる神や、病気を治してくれる神、いい人と出会わせてくれる神、いやな人と別れさせてくれる神、ぼつくり死ぬようにさせてくれる神もあります。人間の願いの事、数だけ神があるのです。

でもこれらの神々が、わたしたちを罪と滅びから救うことはありません。希望通りぼつくりと死んでも、滅んでしまいます。それだけでなく、生きているわたしたちを本当に立たせてくれる力も、これらの神々にはないのです。

ペトロとヨハネが祈りを献げるために神殿に行こうとした時、「美しい門」と呼ばれる門の近くで物乞いをしていた、生まれつき足の悪い男が、二人に施しを乞いました。ペトロが彼を見つめて「わたしには金や銀はないが、持っているものをあげよう。ナザレの人イエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい」と言って助け起こしますと、彼の足がすぐに強く

なって立ち上がり、喜んで二人と一緒に神殿に入って行きました。足の悪い人は神殿に入ることができません。だからこれまでこの人は、神殿で礼拝をしたことがありませんでした。足を癒されて、この人は神さまの前に立てるようになったのです。

人を助け起こす時に、その人が自分で立ちとうと思わなければ、どんなに力のある人でも立たせることはできません。だからこの人も、自分で立ちとうとしたのです。生まれてから四〇年以上、立つて歩いたことのない人です。立つことなどあきらめていても、不思議ではありません。でもこの人は立ちとうとしました。イエス・キリストの名によって立ちなさいと言われたからです。イエスという方が立たせてくださると信じたのです。そして、そう信じたこの人を、主イエスが助けてくださったのです。

東日本大震災の時に、津波で教会が流され、すべてを失った牧師さんがいます。でも彼は数日後、自分を励ますための集会の中で「主は与え、主は奪う。主の御名はほめたたえられよ」と語りました。わたしがお会いした時には、自分は津波ですべてを失ったが、今は日本中に助けてくれる友だちができた、と感謝していました。その後、彼は多くの教会の助けを受けて、前よりも立派な礼拝堂を持つ教会を建てました。

天地の創造主でいます神をわたしの父と呼び、永遠の命を与えられて生きる者は、どんな時でも立ち上がるができます。そのようにしてくださる方は、主イエスをおいて他にはありません。

## 礼拝開会の祈り

主なる神さま、あなたはわたしたちがどのような人間であるかを、よくご存じです。良心の鋭い者もいれば、鈍い者もいます。満足している者、不満を抱いている者、確かな信仰をもっている者、あやふやな者、じつにさまざまです。確信をもった、揺るぎないクリスチャンもいれば、慣習上のクリスチャンもいます。心から信じている者、半ば信じている者、まったく信じていない者、ありとあらゆる人々がいるのです。

神さま、あなたはまた、わたしたちがどういうところから来た者であるかをご存じです。親類縁者、友人知己に囲まれている者もいますし、孤独のきわみの中から来た者もいます。穏やかな、裕福な雰囲気の中に生い育った者もいれば、混乱と困窮を知り尽くしている者もいます。きちんとした、健全な家族関係の中から来た者も、乱脈を極めた家族関係、つねに緊張を強いられている雰囲気のうちから来た者もおります。キリスト者の交わりの中核に属する者も、そのはずれと言える位置にある者もいるのです。

けれども、そのように異なっているわたしたちがいま、ひとしくあなたの前に立っております。それぞれに異なってはいますが、あなたに対し、お互いに対して、罪を犯しているという点では、また、いつの日か死すべき者であるという点では、みな同じです。あなたの恵みがなければ、わたしたちはことごとく失われた者であります。あなたの恵みは御子イエス・キリストによって、わたしたちすべてに約束され、値なくして差し出されているのです。

わたしたちはいま、ここに集まり、あなたがわたしたちに語りかけてくださるのを待つことによつて、あなたを讃美しようとしております。どうか、この目的が成就しますように。あなたの御名によつて。

平野克己 「祈りのともしび」より

カール・バルトの祈り

## 今日のお知らせ

○礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコーヒーサービスがあります。また園舎二階のリズム室ではどのような会が開かれ、礼拝で受けた恵みの分かち合いをします。どうぞご参加ください。

○第二礼拝後、二時四五分から一時一五分の間で、火災避難訓練をします。今日は消防署の職員も来てくださつて、指導と評価をしてください。

○避難訓練の後、ホールで讃美と報告の会をします。お昼はお弁当です。

○二三日（水）附属幼稚園の引き取り訓練があります。大地蔵に備えての訓練です。

○一四日（木）午前一〇時半から、シオンの会をします。ハイデルベルク信仰問答の問一・二・四を学びます。会場の都合で、今回は花嫁控室で行います。初めての方の参加を歓迎いたします。

○古柯牧師は一五日（金）午後六時から八時まで、東京神学大学で行われる学生説教聴の集会で講師を務めます。

○紫園香音楽伝道師は、一三日、栃木県にあるおもちのまちキリスト教会のレディーズランチョンで講師の奉仕をします。お祈りください。

○二〇一八年度の教会員名簿が出来上がりました。一世帯につき一冊ずつ差しに配布致しましたが、更に必要な方は事務所までお申し出ください。

讃美歌21 409番

Sukuno michi o hiraita Iesu o  
Ko Yumi (1896-1985), alt.

ECUMENICAL  
Saburo Takata (1915-2000)

1 す く い の み ち を ひ ら い た イ エ ス を  
2 じ だ は の は う つ を ふ せ ら う ま い ど る た は に か つ す わ れ を  
3 お わ り の と み つ き が せ ま る に っ わ れ り て

い し ず え と し て は は じ ー め ら れ も  
主 主 世 の の あ な る た か み ぜ は は かわ ー れ い で も  
す く い の わ た ざ を う け つ い で き ー た  
こ の く し ゃ を た ぐ と を と ま あ ず の か ー る  
み の く し ゃ を た ぐ と を と ま あ ず の か ー る

主 主 の の き よ う か か い は た た だ ひ と つ  
主 主 の の き よ う か か い は た た だ ひ と つ

7775D

聖書の会へどうぞ

6月13日(水)

●朝の聖書の会(10時)

「離れ、弟子たちも退かせ」

使徒19章1〜10節

黄允湜 副牧師

●聖書の夕べ(19時)

「神の子キリスト」

ルカ22章63〜71節

吉村和雄 牧師

ミニコンサート

6月14日(木) 12時30分

ハンドベル教室「雨に唄えば」他

次週礼拝

●第1礼拝(午前9時30分)

讃美歌讃21 127番 讃21

説教 偽預言者・バルイエス

聖書使徒言行録13章1〜12節

説教者 吉村和雄 牧師

●第2礼拝(午前11時10分)

讃美歌187番 270番

詩篇第1編

説教「なぜ怖がるのか」

聖書マタイ8章23〜34節

説教者 黄允湜 副牧師



## 第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21 127番  
讃21 409番

説教 「金もうけの望みがなくなって」

聖書 使徒言行録16章16節～24節(新約P245)

司式 森洋之兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄允湜 副牧師

前奏曲 「対話」 E.カプラン

○ 讃美歌21 127番

1. みめぐみあふれる 主をほめたたえよ  
みわざを忘れず さんびををささげよ  
主にもとめるとき 主は答えられる  
なぐさめをもって

2. もとめる人には 主は耳かたむけ  
おそれる人には み守りを与える  
主をおぐ人は 苦難の中にも  
喜びを歌う

3. 味わい見つめよ 主の深い恵み  
としえの代まで 変わらぬあわれみ  
みもとに身をよせ おそれる人には  
欠けるものはない アーメン

○ ピアノによる讃美  
「イエス様についてゆく」

○ 讃美歌21 409番(3面に楽譜があります)

1. すくいの道を 開いたイエスを  
いしずえとして はじめられ  
救いのわざを 受けついできた  
主の教会は ただ一つ

2. 時代はうつり 風土はかわり  
主にある民は 分かれても  
みことばをのべ ともにパンをさく  
主の教会は ただ一つ

3. おわりのときが せまるにつれて  
世のなみかぜは さわいでも  
み国をもとめ 主を待ちのぞむ  
主の教会は ただ一つ アーメン

聖餐曲 「アレグレット」 E.ガットス

後奏曲 「聖歌」 E.カガ-

## 第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 186番 214番  
詩篇 第1編(旧約P835)

説教 「ぜひ福音を伝えたい」

聖書 ローマ1章8節～15節(新約P273)

司式 森洋之兄

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲 「キリエ、聖霊なる父よ」 J.S.バッハ

○ 讃美歌 186番

○ ピアノによる讃美  
「イエス様についてゆく」

○ 聖歌隊による讃美

「わが心に」 水野源三：作詞・川口耕平：作曲

1. 我が心にのぞみがあり  
キリストが与えてくださった  
悩みの時も変わらない  
まだ見ぬものを待つ望みが

2. 我が心に喜びあり  
キリストが与えてくださった  
月日が経ってもきえない  
この世で得られぬ喜びが

3. 我が進みゆく道があり  
キリストがひらいてくださった  
暗くあろうと迷わない  
御国へ至るうれしき道

○ 讃美歌 214番

聖餐曲 「ただ愛する神により頼む者は」 M.レガ-

後奏曲 「聖歌」 E.カガ-

※ 礼拝には、出席、讃美歌、礼拝のおしりを毎週お持ちください。